

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

# ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.10

2013-14  
2014年4月号  
発行/2014年4月1日  
COPY FOR MEMBERS

## ▶ 雑誌月間によせて

国際ロータリー第 2790 地区

2013-2014 年 ガバナー **関口 徳雄** (浦安ロータリークラブ)



我が国の4月は、役所も学校も年度初めであり、着慣れない制服や背広をぎこちなく身につけたフレッシュマンが巷に溢れる季節です。

そして、我が房総半島は百花繚乱の様相を呈し、正に春爛漫の域に達するでしょう。

それにしても、2月の大雪の際は、千葉県も雪国(?)となったかと同期の北国のガバナーから冷やかされたのもつい昨日のようです。

さて、4月は雑誌月間です。この月間には必ずと言っていい程、各地区で「ロータリーの友」を会員にもっと読んで貰うためにはどうしたらいいかが繰り返し議論されているようです。

購読義務がある「友」誌であるのに、何故読まれないのか?一部には「友」誌は隠れたベストセラーだと言う人もいるくらいなのに。

「ロータリーの友」は、RI会長の意見や所感、国内ロータリークラブとロータリアンの投稿記事が中心であって、いわば典型的なロータリーの情報誌であるわけです。

ロータリーの知識を広めたり、他地区の情報を得ようとしたら、この「友」誌が有効です。

従って、逆にロータリアン以外の人からは、何ら興味を持たない雑誌となります。

そこで、ロータリアンには勿論、一般人にも読んで貰うべく、記事にロータリー以外の情報や政治・経済・娯楽・スポーツ等を掲載したらどうかとの意見もあり、現にヨーロッパの某国ではこれを一部実践し、成功しているとのこと。

私は思うのですが、少しでも多くのロータリアンに読

んで貰うべく日本の公式なロータリー誌である「友」誌を一般の雑誌と同じレベルにしようとするのは反対です。何百とある雑誌の中で、ロータリー及びロータリアンだけに通用し、ロータリアンだけに感銘を与える専門誌があってもいいと思います。「友」を読む読まないは、所詮ロータリアンとしてのロータリーに対する「思い入れ」の気持ちの度合いに比例するのではないのでしょうか?

日頃から自分を磨き、そして他のロータリアンから尊敬されるような良質なロータリアンになりたいと願う人は、ロータリーの知識や情報を「友」誌から絶えず吸収しようとするでしょうし、そこまで達していないロータリアンは好きな記事だけを拾って読むでしょう。

又、今読まない人でも、卓話等でロータリーの何たるかを語らねばならない時期が来たら、その時は必死で読むでしょう。私はそれでいいと思います。

しかし、ロータリーは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりですし、「奉仕と親睦」のバランスのとれた実践の中で真のロータリアンが育まれるのであり、ロータリーはある種倫理運動的側面を有するとしたら、ロータリアンはロータリーを勉強する「義務」とまでは言わなくとも、勉強する「必要」があると思います。そのためにも「ロータリーの友」を活用するべきです。一方、パソコンの得意な人はインターネット(ウェブサイト)でも情報収集ができますので、これを駆使すればよいでしょう。

いずれにしても、購読は義務ですから、ロータリアンである以上、全く読まないで資源ゴミ行きは勿体ない、せめて好みの記事を見つけて読むよう心がけるべきでしょう。



国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー事務所

〒279-0001 浦安市当代島 1-4-1-303

TEL.047-711-1545 FAX.047-711-1546

E-mail 13-14gov@rid2790.jp

URL http://www.rid2790.jp



## 雑誌月間によせて

ロータリーの友委員会  
地区代表委員 木下 一夫

毎月、210円の本代を払って購読して頂いている「ロータリーの友」ですが、果たして何割の方が精読されているのでしょうか？ほとんどの方が、ページをペラペラッとめくっただけで本棚などにしまってしまうのが現状ではないでしょうか？

毎年4月は雑誌月間となっており、ロータリーの友委員は「友」の購読と有効活用を促進しなければならないのですが、果たして皆さんに説得ある言葉をなげかけられるかどうかはなほだ疑問です。

そこで、ロータリーの友事務局が編集方針について語っているので、それを引用いたします。  
ーロータリーの友 手引書よりー

『友』が「おもしろい」「おもしろくない」という発言の中には、ロータリーの雑誌として『友』が願っていることとは違う部分で議論されている傾向があります。ロータリーの友委員会の願いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からのおもしろさの有無です。それ故に、ゴシップを扱ったり、マンガを多用したり、歴史小説を連載

することに『友』はくみしません。例えば歴史小説の連載がないから『友』は読まれない、のでしょうか。おそらく多くのロータリアンは否定されることでしょうか。連載小説を掲載し、その部分が読まれたからといって、『友』の存在理由があるとはいえません。あくまでも「ロータリアンとしてどうか」「おもしろい」や「おもしろくない」の議論より優先させた判断となるべきことで、各人の興味を満足させることが、この機関誌の発行目的ではありません。

したがって広報誌ではありませんので、ロータリアン以外の方々を対象にしては編集されていません。もちろんロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをご理解いただけるように努力はしていますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。世界や日本におけるロータリーの状況やロータリー活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集と、より身近でより親しまれる編集を心がけています。

皆さんはどう思われたでしょうか？

「面白い」「面白くない」じゃなく、毎年雑誌月間がありながらなぜ読まれないのかが問題であって、まだまだ編集サイドにロータリアンの声・要望が伝わりきっていないと思われたのではないのでしょうか？

今以上にロータリー活動の発展に寄与する「ロータリーの友」を作っていくためにも、ロータリアンの皆様には積極的な寄稿やご意見をお願いしたいと思います。

## 第37回RYLAセミナー

青少年奉仕委員会RYLA小委員会  
RYLA小委員長 佐藤 伸

2月22日(土)、23日(日)の両日、習志野市の幕張セミナーハウスにて70名もの登録をいただき、RYLA実行委員、スタッフ、応援ロータリアンたちを含め総勢100名で第37回RYLAセミナーを開催いたしました。

第37回RYLAセミナーでは、歩行ラリーを行ないましたが、従前の歩行ラリーとは異なり、都市型のものでしたのでコース設計には工夫を凝らしました。また、事故を防止するために習志野警察署や習志野市役所の細かな承認が必要でしたが、これは地元有力者であるRYLA実行委員がクリアしてくれました。

セミナー前日の21日(金)には、実行委員たちが機材、備品などの準備を済ませてくれたので、安心して本番当日を迎えることができました。22日(土)は、午前9時15分に登録を開始し、午前10時から大ホールで『開講式』が始まりました。ガバナー代理の齋藤地区幹事長、石橋青少年奉仕委員長、習志野中央ロータリークラブの布施会長の皆様から参加者に激励の言葉をいただくことができました。

午前10時30分から正午までの間に歩行ラリーの説明・研究・対策が行なわれ、昼食を済ませたあとの午後1時より第1回歩行ラリー(Aコース)が開始されました。

このAコースは、公園の中を迷路のように進むところが多く、コマ図には『引っかけ』も混ぜてあったためにコースから外れて悔しがっていた参加者も多かったようです。

午後4時頃から各ユニットごとに別々の研修室に分かれて、歩行ラリーで体験した事実の再現と調査・検証項目の検討を行ないました。休憩を挟んで、午後7時から8時30分までの1時間半、食堂で『第1回成績発表と懇親会』を行なったので参加者たちの仲間意識が高まったようです。



セミナー2日目の23日(日)のスタートは、幕張セミナーハウスの駐車場で行なったラジオ体操でした。第2回歩行ラリー(Bコース)は午前9時から順次スタートし、海に臨む公園を歩き回り、正午には全員が無事に帰還することができました。

昼食を終えてから、参加者たちは体験を壁新聞にまとめて発表しました。第2回成績発表では、景品の菓子を手にした参加者たちが嬉しそうに子供のよ様な無邪気な顔をしていたのが印象的でした。閉講式では、関口ガバナーからアワードを授与していただきました。閉講式終了後には記念写真を撮り、楽しい思い出を残すことができましたと思います。

振り返ってみますと、昨年から実行委員たちでコースの検証などの準備をしていたことが懐かしく感じます。事故もなく無事にセミナーを終えることができたのは、石橋青少年奉仕委員長をはじめ、実行委員やRYLAスタッフの皆さん、習志野中央の有志の皆さんたちのおかげです。また、盛大なRYLAセミナーを開催できましたのは、第2790地区の全会員のご支援の賜物であることを実感しております。ありがとうございました。この場をお借りしてお礼の言葉とさせていただきます。



## I M 報告

### 第1分区ガバナー補佐 鈴木啓輔

2月17日、西船橋駅南口のフローラ西船を会場とし国際ロータリー第2790地区第一分区インターシティー・ミーティングが約90名のロータリアンの出席のもとに開催されました。

今日、世界のトップ企業において地球の自然環境保護を企業マインドに据えない企業は生き残っていけないと言ってよいほど、環境問題は人類にとって待ったなしの懸念材料となっております。そこで地域における各業種のトップの方々集まりでもあるロータリークラブであることより、このグローバルな懸念材料について認識をしていただきたく“今、

自然環境は”のテーマでガバナー補佐自らが講師となり、拙いお話をさせていただきました。またロータリーの大きな柱でもある“職業奉仕”について、関口徳雄ガバナーは、“自分の仕事の中で奉仕の理想を追求すること”と纏められておられます。国際ロータリーの財団化といわれかねない昨今、ロータリーの心である職業奉仕について、もう一度初心に帰って職業奉仕のなんたるかについてグループに分かれ真摯なディスカッションをしていただきました。各グループの発表の後、関口ガバナーより職業奉仕に関する有意義なお話と御講評をいただきました。勉強会の後の懇親会では、おおいに親睦の輪が広がり、IMの大きな目的の一つである懇親がはかられ解散となりました。



# IM報告

## 第2分区ガバナー補佐 森 嶋 康 長



2月18日 フローラ西船にて、6クラブ合同で統一テーマ「元気なクラブを目指して」を掲げてIMを開催いたしました。

点鐘後 ホストクラブである船橋ロータリークラブの栗林琢哉会員の指揮のもと、梅澤博明会員のピアノ伴奏で和やかにIMが始まりました。

第一部は、ロン・バートンRI会長の「Engage Rotary Change Lives」を踏まえ、第2分区の各ロータリアンに向けて、八千代中央ロータリークラブの広瀬幸吉氏に基調講演をお願いいたしました。「勝海舟と論語」をテーマに、①学んで習う②窮して乱れず③今に生きる④馬を問わず⑤大人は九族に親しむ までの見方から リーダー論まで 東洋思想の真髄を得意の広瀬節を交えて 第2分区のロータリアンに熱

く語っていただきました。

第二部では、「元気なクラブを目指して」を掲げ、次期リーダーである各クラブの会長エレクトによる発表が行われました。講評は、宇佐見透ガバナーエレクトにお願いいたしました。宇佐見ガバナーエレクトの誠実なお人柄がにじみ出る 各発表者に対する講評に観衆のロータリアンは 深く心を打たれたことと思います。

その後、6クラブ合同事業であるアンデルセン公園クラブに対するベンチ寄贈目録贈呈式を行い、浜名賢一前ガバナー補佐への感謝状贈呈、渡邊幸一次期ガバナー補佐の御挨拶ののち、最後の懇親会では、ホストクラブの社会奉仕活動の一環として支援している地元のプロバスケットチーム 千葉ジェッツの選手とチアリーダースタージェッツによるアトラクションにより

盛会裡に終了いたしました。

ホストクラブの船橋クラブの皆様と第2分区の皆様のご協力にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。



## 第3分区Aガバナー補佐 並 木 鷹 男 第3分区Bガバナー補佐 石 井 七 郎

第三分区はひとつ！を合言葉に、2月17日、AB合同、合作のIMを開催した。千葉、市原の市域を超えて13の



クラブが一堂に会する、この絶好の機会を捉え、ロータリーの知識を深め、会員相互の交流を深めたい、と千葉クラブと千葉北クラブの準備委

員会は延べ15回にも及ぶ準備会議を重ねた。白鳥PGのアドバイスを頂きながら、地区のRLIの先駆者である17名のDLのお力をお借りし、ディスカッションをリードするリーダーシップをも学びたい、と言う、大変欲張りな計画でもあった。



開催当日は、豪雪の影響にもかかわらず総勢225人が集い、石井補佐の開会挨拶の後、白鳥PGから『ロータリーと私』のテーマで基調講演を頂いた。33

年間にも及ぶ貴重なロータリーライフの体験談、パストガバナーとしての見識溢れる格調高いご講演を頂いた。

さあ、次は本日のメインイベント、RLIの手法を活用したテーブルディスカッションの始まりである。テーマは『ロータリーの親睦と奉仕』、難しいテーマではあるが、身近な課題でもある。参加者は14のテーブルに分かれ、17名のDLによりディスカッションを開始した。



当然のように初めて顔を合わすロータリアンもいた。最初は堅かった表情も、DLによる巧みなリーダーシップに導かれ、どんどん、

ディスカッションの輪に惹きこまれ、やがて、メンバー同士の自由な意見が飛び交う。

あっ、という間に終了時間を迎え、それでも、まだ、話足らないテーブルは、DLが戸惑うほどに対話が続く。その後の懇親会も、予想を上回る160名余が集い、宇佐見GEの乾杯の音頭の後、其々のテーブルでは更に議論の輪が広がり、閉会後も後ろ髪引かれる思いのロータリアンはしばし会場を去らなかつた。

『いやああ、凄く面白かった、素晴らしいIMだった！』先輩からの温かい感想に、今までの苦勞が報われた、そんな思いで一杯であった。ご支援頂いた皆様に心から感謝申し上げます。有難うございました。

# IM報告

## 第4分区ガバナー補佐 堀内 正一

2月14日(金)2週にわたる予想外の大雪の中、開催も危ぶみながらも、何とか第4分区8クラブによるインターシティミーティングを東京ベイプラザホテルで行いました。

出席者が少なくなることも心配されましたが、89名のご参加を頂きました。

リーダーには玉屋亮平パストガバナーをお迎えし、ロータリーは例会出席が何より重要と考え、テーマを「例会に出席して、何を学ぶの?」とし、分区内のロータリアンがグループごとに分かれ、それぞれのクラブの様子や例会で感じたこと等、活発な意見交換が行われました。

発表は、各クラブの会長にテーブルリーダーをお願いし発表していただきました。

それぞれの発表から、例会に出席することにより得るものの大きさ、異業種の方々から学ぶ知識・情報、人間としてのマナー、会員同士の絆、健康のバロメーター等々、例会出席の重要性を強く認識いただけたのではないのでしょうか。

また、点鐘を木槌で叩く事から木鐸とは、「ロータリアンは例会の中で何かを学び社会の木鐸となれ」とのお話も紹介されました。

玉屋リーダーからは、我が木更津RCの会員であった故・北村鉄之助様が話された「樽の中の芋」が紹介された事から、「水の張った樽の中に入れられた芋が、相互に擦れ合って磨きあい、輝きあって

いけるのが、ロータリーの効果である」との説明をはじめ、テーブルごとの発表に丁寧な講評を頂きました。そして佐藤千寿PG著「やさしいロータリーへ」を参加者全員が頂き、全てのクラブが目指す所は一言「我以外全て師」に尽きるのではないかと感想を頂きました。

帰りの雪道を心配しながらの長時間に亘りましたが、皆様にとりまして有意義で記憶に残るIMになったと思います。終了後の懇親会も、今、本地区が奉仕プロジェクトに力を注いでいるモンゴルへ目を向け、モンゴルの米山学友会・会長ジャンチブ・ガルバドラッハ氏から留学生を紹介していただき、馬頭琴演奏(アリウンザヤさん)とモンゴルの歌(ルハムザヤさん)を聴きながら、楽しく親睦交流を深める一時を過ごしていただくことが出来ました。

記録的な大雪の中、リーダー始め皆さん無事にお帰り頂きホッと胸をなで下ろしました。



## 第5分区ガバナー補佐 川名 幸雄

2月21日、たてやま夕日海岸ホテルにおいて、第5分区内6クラブ合同例会ならびにIMを開催しました。テーマは忠実・誠実・誇り…職業奉仕の理念と実践としました。

IMのリーダーは杉木禧夫パストガバナーにお願いし、基調講演として「職業奉仕の理念と実践」についてご指導をいただきました。

ロータリアンは自己の職業に誇りを持ち、職業を通じて社会に貢献し、奉仕の理念を追求する。これが職業奉仕の考え方であり、ロータリー以外の団体にはないロータリーの金看板である。

ロータリーは基本的には利己的な欲求と、他人のため尽くしたい感情との間に常に存在する矛盾を和らげる「超我の奉仕」の哲学であり「最もよく奉仕する者最も多く報われる」という実践的な倫理原則に基づくものであると決議23-24は述べている。

「奉仕こそ我がつとめ」には、奉仕によって得た利益をロータリアンでない人々(同業者・雇い人・従業員等)と共に分かちこと。

しかし、現在は職業奉仕が軽視される傾向があり、

ロータリーの特徴が失われつつある、と。

続いて特別講演「房州捕鯨の歴史と現状—学校教育との関連も含めて—」について、外房捕鯨(株)庄司義則社長にお話しをいただきました。房州捕鯨が江戸期より盛んに行われて来た理由、地域によるクジラの食べる部位の違い、食べ方のちがい等について、更に国によって捕鯨についての考え方の違いがあること、15年間も続いた小中学校への出前授業について話され、いろいろ問題はあるが日本で五つの基地の一つである房州捕鯨を誇りを持って続けていくことを力強く語ってくださった。

日が暮れてから、懇親会を賑やかにを行い、親睦と情報交換を深めました。



# IM 報告

## 第6分区ガバナー補佐 土屋 利 夫

クラブ全員登録の協力を得て、ホスト大原ロータリークラブのご支援とご協力のお蔭をもちまして、無事終了する事ができました。

2月13日、いすみ市大原文化センターを会場として、3部構成によるIMを、午後2時より開催いたしました。

今回のIM開催にあたり、関口ガバナーより、クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広める事にあつて、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理念を勉強する機会であるとのメッセージをいただきました。

当日はリーダーに、PDG 地区研修委員、白鳥政孝様に基調講演をお願いして、テーマ「ロータリーからの贈り物」と題して講和をいただきました。

講和は、ロータリーの誕生、そして、クラブの継続と向上、会員意識と社会奉仕の実践や本田技研工業創設者である、本田宗一郎氏のことばの紹介を一つの提言としてお話を頂き、本題へと進められました。

白鳥パストガバナーは入会33年目を迎え、2006年より2008年の二期連続のガバナーを務められています。今回のお話は、ご自身のこの間に受けた人との出会い、今まで気づかずにいた自身の側面、聴く姿勢の大切さや、真実を知る上での実際に自分の目で見ることの重要性、体験することによる適切な判断力を養う力をつける事の大事さ、価値観の違う人と向き合い精神的変化から向上し合う相乗効果の表れと周囲に感謝する

心、付き合い方、美しさへの感性を磨く事の重要性など、そして、週報の作成に携わった時の正確な情報の発信、例会の意義や親睦、職業奉仕（ロータリーの本質）についての多岐にわたり、自らの教訓として格調高いお話を伺う事ができました。

当日講演の後段では、早稲田大学塾長室参事 石川正徳様による「世界へはばたく、日本女性」と題し、津田塾大学創設者、津田梅子氏、2020年東京五輪・パラリンピック誘致に活躍された佐藤真海氏をはじめ、多くの著名人の活躍ぶりをご紹介する形でお話をいただきました。

前回大原RCは、2005年開催のIMのホストを引き受けておりますが、当時第6分区の登録数は330名、予算も今回の1、8倍でした。与えられた予算の中で、削れる経費は思い切って削り、懇親会は出来る限り豪華に準備をさせて頂きましたが、十分に満足頂けたかは分かりません。

現状を踏まえ、次年度以降このIM開催に対する登録料の見直しを是非考えて実施する事を提案して報告と致します。



## 第7分区ガバナー補佐 椎 名 正 良

2月16日、旭市のヒューマンプラザ黄鶴に於いて、第7分区インターシティーミーティングを4クラブ84名参加のもと、開催いたしました。

IMリーダーとして、ガバナーエレクトの宇佐見透様をお迎えし、基調講演では「私とロータリー」と題し、故郷長岡のお話、国際協議会でのエピソード、ロータリー哲学等、大変興味深いお話をしてい

たきました。

その後、“元気なクラブを目指して”というIMテーマのもと、「会員増強」「例会の重要性」について各クラブ2名ずつ8名の方に変容内容の濃い意見発表をしていただきました。

そして、約3時間のミーティングの後は、懇親会にて分区内の親睦と友情の輪が広がりました。

また、特に次年度の分区役員、会長、幹事の皆さんにとりましては、宇佐見ガバナーエレクトのお人柄に触れることのできた有意義なIMであったと思います。



# IM報告

## 第8分区ガバナー補佐 山田 要

2月9日、小見川春本にて、第8分区4クラブ合同例会及びIMを開催いたしました。

本年度、第2790地区関口ガバナーの「元気なクラブを目指して」という地区テーマのもと、活動を展開してから半年以上が過ぎ、各クラブの活動状況や今後の運営等について、テーブルディスカッションを行い、日頃の例会運営や会員増強等、情報交換

や意見を出し合い大変盛り上がりました。

基調講演では、リーダーに本年度ロータリー財団委員長の山田修平PGをお迎えし「未来の夢計画」というテーマで講演をして頂きました。

IMの目的は、分区内4クラブの会員が一同に会し、会員相互の親睦と知識を深め、会員にロータリーの情報を伝え奉仕の理念を勉強する為であります。

今回のIMは、会員の減少に歯止めをかけ、いかに元気なクラブを目指していくか、大変意義のあるものとなりました。



## 第9分区ガバナー補佐 設楽正行

本年度のIMの開催にあたり、関口ガバナーが目論む「元気なクラブを目指して」と第9分区の絆をさらに強くしようという2つの目的を少しでも達成するために、各クラブの会長・幹事と相談し、例会内で各クラブの本年度の最重要の事業につき各会長から発表をいただき、分区内クラブの活動につき、確認し合いました。

ひきつづき、成田ゆかりの人物であり、米山梅吉翁もたびたびその言を引用した二宮金次郎の7代目の子孫の中桐万里子先生による「7代目が語る二宮金次郎」―激動の時代を生き抜くために―と題して講演をいただきました。今から約200年前疲弊した600余か村の復興を成し遂げ、今なお各地で慕われ、その研究の会が全国にあるという金次郎の生きざまを2時間余り、資料を見ることなく滔々と講演いただきました。

その中で印象的であったのは金次郎自身が自分は小川に張り出す水車のようなものだという点であります。川の流れる力を（自然の力を）、いただき水車は初めて回り始めます。そしてその力で粉を引き、さまざまな動力を生み出します。半分は自然に逆らわず、半分は知恵を持って自然を利用して事をなして行くことの重要性を話されました。

このように東洋的、儒教的な考えのもと、徳をもってすべてのことに当たり、人々を教育薫陶し、目標を定め、目標に向かって人々を正しく導き、適材適所で人材を生かし復興を成し遂げていったわけです。このような講演からロータリーのいわゆる中核的価値観たる、奉仕、多様性、高潔性、リーダーシップなどに思いを馳せていただけたのではないかと思います。

懇親会では従来の各クラブごとにとまとまって行っていたのをやめ、ロータリーの入会年度別のテーブルで各クラブばらばらに集い、ロータリーの今後や元気なクラブのためになど大いに議論に花咲かせ、分区内の絆をさらに深めました。



# IM報告

## 第10分区ガバナー補佐 風澤俊夫

二月十九日、三井ガーデンホテル柏にて、第十分区内五クラブの合同例会ならびにIMを開催致しました。テーマは「元気あるロータリークラブと例会」と致しました。

まずは、来賓の柏市長秋山浩保様からご挨拶を頂きました。次にIMリーダーとしてお迎えしたパストガバナー中村博巨様より基調講話として、元気あるクラブ運営を目指す「戦略計画」の資料を元に高い志を持って五年、十年先を考え、RIに沿って、変化することに躊躇してはいけない旨のお話がありました。続いて、各クラブのSAA代表から例会の現状また、元気なクラブにする為の仕掛けや工夫また、改善したい事等を発表してもらいました。各クラブそれぞれに、会員数や会場により運営の仕方が違います。例えば、例会の時間割、食事との兼合い、例会の一時間内にお食事があり卓話の時間が十分に取れなかったり、例会前にお食事があり、きっちり卓話の時間を確保していたりさまざまです。

そんな中、コの字形の会場を円卓に変えてみたり、ニコニコへの参加を上手に促したり、いつも同じ人が固まらない様にしたり、SAAも悩みながら変化している事がわかりました。

SAAの発表後は、短い時間ではありますが、各

テーブル毎に討論し、その方の発表をしてもらいました。最後に中村リーダーに総評を頂きSAAの奉仕が例会を盛り上げ、元気あるロータリークラブに繋がる事を確認し、無事終了致しました。



## 第11分区ガバナー補佐 今泉重弘

2月18日、ホテルウィッシュトンホテルユーカリに於いて7クラブ合同例会及びIMを開催いたしました。

本年度は昨年情報研究会が県全体で行われたので11分区全体としての集まりは、このIMだけとなりましたので、分区内のクラブの親睦を目玉とした楽しいイベントとして、関口ガバナーの「元気の出るクラブ作り」に更に勢いをつける内容と致しました。

崎山パストガバナーのあいさつに続き、本年度クラブ会長に半年を過ぎた経過及び残り5ヶ月余りの

任期の抱負、そして会長エレクトに新しい年度に対する抱負を7クラブに発表して頂き、今年度入会して当日参加された会員も紹介していただきました。

今回はIMの開催を午後3時として6時からの懇親会により多くの方に残って頂いて十分に楽しんでいただきました。イベントとしてシニアの楽団をお呼びして、昔懐かしい洋楽、歌謡曲を演奏していただき、喉自慢の会員の独唱及び全員での合唱により大いに盛りあがりました。

半期の終わったこの時期のIMが「中間決済」のようなものとなり、残りの任期を更に充実したものにし、「元気の出るクラブ作り」により会員増強の起爆剤となるような催しとした次第であります。





# I M 報 告

## 第12分区ガバナー補佐 渡 辺 敏 弘

2月4日、立春と云え、春は名のみで小雪交じりの凍えるような悪天候の中、パストガバナー杉木禧夫様をリーダーとしてお迎えし、松戸商工会館5F大会議室にて、5クラブ合同例会に引き続いて第12分区IMを開催致しました。

杉木リーダーには「ロータリーの中核となる価値観について」(職業奉仕の理念と実践)という演題で格調高い基調講演を1時間に亘ってして頂きました。

ロータリー就中職業奉仕の講演となると、とかく難解な話になりがちですが、杉木リーダーは「奉仕の理念」「決議23-34」パーシーホジソンの「奉仕こそわがつとめ」「四つのテスト」を中心にとりあげて、職業奉仕について、大変わかりやすくお話しをされ、時の経つのも忘れる程で、参加メンバーにも大いに参考になったと思われました。

結びの一端に触れさせていただきますと、—我々ロータリアンは、ロータリーの中心的概念である職業奉仕を理解し、それを了とした同志でございます。今こそ職業を通じ、人間同士の信頼、社会の共感等「目に見えない信用・価値」を心に留め、一層の努力を励むことこそが最重要な時代になってきたのではないのでしょうか。—という次第です。

そして最後に本日の演題に逸れてしまうが、と前置きして、関口年度の研修リーダーとしても、会員増強の意義、重要性を強く説かれ、クラブ会長をはじめ、全会員一丸となり増強計画を共有し、奮励努力することこそが、クラブ活性化となり希望の明日が期待されるのではないのでしょうか、と訴えられました。

リーダーの基調講演の後、各クラブ会長エレクトより「親睦を深め奉仕活動を推進しよう」—魅力あるクラブを目指して—というテーマで様々な視点、角度、発想から次年度に向けての意欲と機知に富んだ発表がありました。

その後、杉木リーダーの総評で終了致しました。

第12分区の3名のパストガバナー、直前ガバナー補佐、次年度ガバナー補佐にご臨席をいただき連綿と続くIMを挙行して、当分区の歴史と伝統の重みを実感した1日でした。



## 第13分区ガバナー補佐 田 口 佳 子

2月8日ナプシャルズ南柏にて、第13分区5クラブ合同例会及びI.Mを開催致しました。記録的な大雪の中、関口ガバナーの電車の遅れ、来賓の車の遅れと、緊迫した中での開始となりました。流山市長 井崎義治様、流山市商工会議所会頭 池森政治様、ガバナー 関口徳雄様にご挨拶頂き、東京慈恵会医科大学教授 鈴木直樹氏の記念講演へと進行しました。タイトルは「リアルタイムイメージングで拓く新しい治療法」。

鈴木氏の深い医学領域、理学領域に於ける実践的な活動を通して、我々のロータリー活動に新たな道を拓く示唆を頂きました。今回のI.Mのテーマは「ロータリー活動がつなぐ人類の未来」です。想像を超えた目覚ましい社会、科学の進歩の中で、人類の未来はどうなっていくのか、そのような時、広く全世界に奉仕活動を推進している我々のロータリー活動の奉仕の精神が生きていきます。ロータリー活動の中での自己鍛錬で得た強い意思を持った生き方の継承、青少年育成への奉仕活動、社会貢献等、人類の未来が明るく希望を持てるよう、各クラブ会長エレクトより提言発表を頂き、その後、関口ガバナーより総評を頂きました。

大雪の中、クラブ会員の皆様の無事の帰還を願い、18時終了を17時終了と時間を短縮した為、不備の点が多くありました事をお詫び申し上げます。懇親会も短い時間ではありましたが楽しく和やかに進み、親睦と情報交換の役目を果たしました。関口ガバナーには、帰りの電車の中での2時間半を越す停車。電車が動かずホテル宿泊と大変ご迷惑をお掛け致しました。事故もなくクラブ会員全員帰宅されましたことに対しまして、会員の皆様のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。記憶に残ります、忘れられないI.Mとなりました。ロータリーの友情に感謝。



## 行事予定（4月）

4日（金）	千葉南RC創立5周年式典		ホテルオークラ千葉
	第15回（22）委員会全体会議（地区職業奉仕委員会）		市原市内
5日（土）	第4回地区委員長会議	13：00～15：00	千葉銀行文化プラザ
	第11回ガバナー補佐会議	15：00～	
13日（日）	ロータリー青少年交換合同会議	15：00～	千葉市民会館
17日（木）	米山記念奨学委員会	15：00～17：00	千葉市民会館
20日（日）	2014学年度 米山記念奨学生・カウンセラー オリエンテーション	15：00～19：00	船橋グランドホテル
	2014年～15年度 第2790地区 米山学友会 総会	16：00～17：00	
29日（火）	2014年度 地区研修・協議会（旧地区協議会）		アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張

## 文庫通信（318号）

～2014年2月 最近の資料から～

魅力的なクラブ創り	北 清治	D.2780 地区大会報告書	2013	9P
「ロータリーに魅せられて」ロータリーは新会員とともに	坂本俊雄	D.2710 地区大会特集号	2014	10P
変わりつつあるロータリー	江崎柳節	D.2800 地区大会記念誌	2013	7P
「ロータリーの目的」とRI戦略計画	南園義一	D.2700 地区大会の記録	2013	8P
国際ロータリーの動向とロータリー財団	三木 明	第35回青少年指導者 育成セミナー報告書	2013	5P
過去を内省し、新しきものを統合していこう —ロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと	黒田正宏	—	2013	51P
ポリオが地球から消える日 「世界の子どもたちとの約束を果たそう」	北山輝夫	D.2830 地区大会記録誌	2013	2P
ポリオとの戦い—根絶間近のインドから	ロケシュ・グプタ	D.2830 地区大会記録誌	2013	5P
トルコの識字プロジェクト支援 / ロータリーへの目覚め	重田政信 / 清 章司	D.2840	2013	1P

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

## （公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま168号）

今月のハイライトよねやまは、モンゴルに米山学友会が誕生したニュースのほか、世話クラブの国際奉仕活動に学友が協力したニュース、カウンセラーとの再会を果たした学友の報告などを掲載しています。ぜひご覧ください。

～今月のトピックス～

1. 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —
2. モンゴルに海外6番目の米山学友会が誕生！
3. 新地区補助金によるベトナム奉仕活動に米山学友が協力
4. 17年ぶりの再会に感激 — スレス・ダス・シュレスタさん —

詳細はリンク先をご覧ください。PDFファイルでのご提供となります。  
[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight168\\_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight168_pdf.pdf)

## 寄付者紹介(敬称略)

### ロータリー財団寄付

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー) … メジャードナー ……………



宇佐見透

(千葉幕張 RC)

8 回目

ポール・ハリス・ソサエティ



山崎敬生

(市川 RC)

### 米山記念奨学会寄付

米山功労者 ……………



佐藤信廣

(市川 RC)

## 新ロータリアン(敬称略)



藤崎祥弘

(成田コスモポリタン RC)

不動産管理

10月11日入会



小笠原大介

(習志野中央 RC)

看板業

1月9日入会



三橋好文

(習志野中央 RC)

不動産管理

1月9日入会



三代川彦博

(習志野中央 RC)

農業

1月9日入会



柴崎一男

(浦安 RC)

葬祭業

1月14日入会



加々井直三

(千葉東 RC)

内装工事

1月20日入会



菊地克利

(松戸北 RC)

司法書士

2月18日入会



田中宏樹

(柏東 RC)

整体/カイロプラクティック

2月27日入会



山室晋也

(千葉幕張 RC)

野球団

3月4日入会



中嶋敏彰

(木更津東 RC)

商業銀行

3月5日入会



近藤直弘

(木更津東 RC)

楽器小売業

3月5日入会



黒木 久

(成田コスモポリタン RC)

西洋料理

3月5日入会

## R.I.第2790地区(千葉)2014年2月出席・会員数報告

分区	クラブ名	出席率%	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	4	39	1	43	1	4
	市川東	96.66	3	38	0	41	0	3
	市川南	72.00	4	15	1	16	2	1
	浦安	78.30	4	41	0	39	0	△2
	市川シビック	80.41	3	34	0	35	0	1
	浦安ベイ	67.19	4	17	0	16	0	△1
第2分区	船橋	91.78	3	25	0	25	0	0
	船橋西	91.81	4	41	5	44	5	3
	鎌ヶ谷	83.33	3	26	2	26	2	0
	船橋東	88.12	4	27	2	29	2	2
	船橋南	90.90	4	21	2	21	2	0
	船橋みなと	88.39	3	22	7	22	7	0
第3分区A	千葉	83.78	3	65	1	68	1	3
	新千葉	83.09	4	43	0	45	0	2
	千葉西	79.82	3	58	4	63	5	5
	千葉中央	85.61	4	37	0	35	0	△2
	千葉幕張	84.95	3	37	3	36	3	△1
	千葉東	83.73	3	31	4	32	4	1
	千葉若潮	68.33	3	30	2	30	2	0
第3分区B	千葉南	83.70	4	42	5	46	6	4
	市原	74.44	4	46	3	45	3	△1
	千葉港	76.16	4	27	0	28	1	1
	市原中央	83.20	3	51	2	51	2	0
	千葉北	57.29	4	25	3	24	3	△1
第4分区	千葉緑	56.41	3	26	3	26	3	0
	木更津	82.00	4	37	4	35	2	△2
	上総	73.65	4	20	0	19	0	△1
	富津	93.33	4	15	0	15	0	0
	富津中央	90.11	3	21	0	21	0	0
	木更津東	85.14	4	42	0	40	0	△2
	君津	86.40	4	41	2	43	2	2
	袖ヶ浦	98.41	3	23	3	24	3	1
第5分区	富津シティ	80.30	4	15	0	14	0	△1
	館山	86.90	3	55	3	57	3	2
	鴨川	86.37	2	33	6	34	6	1
	勝浦	93.25	4	38	5	37	5	△1
	千倉	78.79	3	9	1	11	1	2
	鋸南	85.70	3	13	1	14	1	1
第6分区	館山ベイ	84.98	4	16	0	16	0	0
	茂原	79.39	4	55	2	56	2	1
	東金	71.20	3	22	1	22	1	0
大原	81.10	4	14	2	19	2	5	

分区	クラブ名	出席率%	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	大多喜	80.00	4	8	1	10	1	2
	成田空港南	88.61	3	36	0	36	0	0
	茂原東	84.51	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	80.00	3	17	2	14	2	△3
	大網	80.00	4	30	1	30	1	0
	東金ビュー	68.20	4	25	2	26	3	1
第7分区	銚子	90.47	4	44	4	44	4	0
	旭	95.90	4	40	0	43	1	3
	八日市場	93.16	3	41	2	39	2	△2
第8分区	銚子東	83.04	3	40	2	41	2	1
	佐原	83.87	4	46	0	47	0	1
第9分区	多古	64.10	3	13	0	14	0	1
	小見川	88.10	4	20	0	21	0	1
	佐原香取	82.30	4	27	0	27	0	0
	成田	80.95	4	61	1	64	1	3
第10分区	八街	81.12	4	33	1	31	1	△2
	印西	79.83	4	26	0	26	0	0
	白井	84.00	4	16	0	17	0	1
	富里	64.44	3	24	0	27	0	3
	成田コスモポリタン	66.30	4	64	0	68	0	4
第11分区	柏	78.50	4	52	9	52	9	0
	我孫子	84.00	3	24	0	26	1	2
	柏西	83.62	3	58	3	58	3	0
	柏東	88.88	3	23	1	28	3	5
	柏南	92.00	3	29	4	32	5	3
	習志野	69.27	4	30	1	30	1	0
第12分区	八千代	86.75	4	45	0	46	0	1
	佐倉	50.00	4	18	2	18	2	0
	八千代中央	76.70	3	26	0	28	0	2
	四街道	92.17	3	24	3	24	3	0
	習志野中央	76.38	4	47	6	51	6	4
	佐倉中央	69.12	4	17	2	17	1	0
	松戸	88.36	4	55	0	56	0	1
	松戸東	87.13	4	51	0	51	0	0
第13分区	松戸北	81.63	3	35	0	36	0	1
	松戸中央	86.41	4	34	2	33	2	△1
	松戸西	75.00	4	24	0	23	0	△1
	野田	83.18	4	50	5	55	5	5
第13分区	流山	84.20	4	20	4	20	4	0
	野田東	83.59	4	31	0	32	0	1
	流山中央	80.20	3	22	2	22	2	0
野田セントラル	79.35	4	22	0	23	0	1	

クラブ数 84R.C. 2013年7月1日 地区会員数 2,703人  
 2014年2月末日 地区会員数 2,771人  
 2013年7月1日 地区女性会員数 142人  
 2014年2月末日 地区女性会員数 149人

当月平均出席率 82.46%  
 増減 +68  
 女性会員増減 +7

4月のロータリー  
レート

# 102円